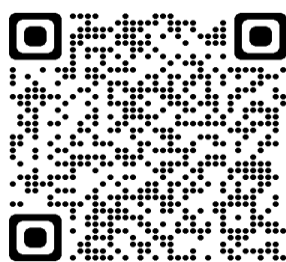


号外

# 福島町一本松きらく園 新聞掲載！



「福島町一本松きらく園」のことが北國新聞(8月4日付)と北陸中日新聞(8月6日付)朝刊に掲載され、花壇作りのことや色鮮やかな花が咲き誇っていることが紹介されました。暑い日には一本松際のベンチがとても涼しいですよ。これからも四季折々の花をお楽しみください。

ホームページで花壇記録などが見られます→QRコード: 上記

## 北國新聞

能美市福島町の住民有志による「福島町きらく園」が地元で整備した福島町一本松きらく園の花苗が開花し、咲き誇った色鮮やかな花じゅうたん色鮮やか

花壇いっばいに咲き誇った花苗(提供) 市福島町(福島町きらく園)

うたなが通行人らの目を惹きつけている。 一帯はかつて松林が広がっていたが、近年は道路開発や松枯れなどで一本だけが残った状態だった。地域のシンボルである一本松を未来へ守り育て、地域の憩いの場にしようと、メンバー12人が2014年から花壇作りに取り組んでいる。

現在は約500平方メートルの花壇にベチユニアやポーチュカ、バーベナなど13種が植えられ、あすまややベンチも設置されている。きらく園代表の山本憲さん(76)は「街角の花壇として多くの人に花を愛でてもらうよう、活動を続けたい」と話した。

能美・福島町きらく園

## 北陸中日新聞

一本松彩る花々 能美・福島 花壇見頃

能美市福島町の住民グループが管理する「福島町一本松きらく園」で、一本松の周りにベチユニアやバーベナなどが色鮮やかな花を咲かせている。同町園を管理するのは、同町の七十一〜八十代の男性十二人でつくる「福島町きらく園」。園内の約五百平方メートルの花壇で、年間を通じてポーチュカ、サルビア、マリーゴールドなどを七十四種類を育てている。会の山本憲代表を中心に、かつては松林が広がっていたが、道路整備や松くい虫による被害などで木々が減った。一本だけ残った松の木を町のシンボルとして残そうと、二〇一四年三月に有志で会を結成。一本松の周辺で花壇作りを始め、挿し木などで増やして規模を拡大してきた。ベンチやあすまやも設置し、憩いの場として利用されている。

山本さんは「これからも「まちかどの和み花壇」として、少しでも多くの人に親しんでもらえるよう取り組みたい」と話す。園はセレニーホールいしかわ根上の西隣にある。(平野誠也)

県などが主催。五人の審査員が表現や論旨などを評し、最優秀賞と優秀賞に出場する。(安里秀太郎)

に選ばれた四人は八月二十七日に金沢市である県大会に出場する。(安里秀太郎)

優秀賞の藤さん(江川遼(白山市北原中3)・平村剛佳(向市北原中3)・石本千陽(内灘町内灘中3))

数々の花が咲き誇る福島町一本松きらく園=能美市福島町で